

2026年4月19日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28:19~20)

復活節第3主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~12:00

<神の招き>

前奏 ①②死に勝ちたまひし主 ヴァルター

招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26

交読詩編 23:1~6

讃美歌 1

<神の言葉>

聖書 創世記 15:4~6
(旧約 聖書協会共同訳 18頁)
ヨハネによる福音書 20:24~29
(新約 聖書協会共同訳 205頁)

祈禱
讃美歌 51
信仰告白 ②日本基督教団信仰告白

洗礼式 ②

転入会式 ②

讃美歌 ② 67
説教 「信じる者になりなさい」 熊江秀一牧師

祈禱
黙想
讃美歌 329

<神への応答>

使徒信条 ①

献金

主の祈り

任職 ②

宣教報告 ②

頌栄 29

派遣と祝福

後奏 ①②神の子は凱旋したまへり バッハ

宣教報告 ①

夕礼拝 18:00~19:00

<神の招き>

前奏 キリストは死んで葬られたが クレブス

招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26

交読詩編 23:1~6

讃美歌 60

<神の言葉>

聖書 詩編 86:14~17
(旧約 聖書協会共同訳 906頁)
ルカによる福音書 7:11~17
(新約 聖書協会共同訳 114頁)

祈禱
讃美歌 318
説教 「み言葉の力」 佐藤潤伝道師

祈禱

黙想

讃美歌 517

<神への応答>

使徒信条

献金

主の祈り

宣教報告

頌栄 25

派遣と祝福

後奏 み神のわざは バッヘルベル

今週の御言葉

それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

(ヨハネによる福音書 20:27)

次週の礼拝 (4月26日)

① 9:00、② 10:30

説教「新しい人を着る」

佐藤潤伝道師

創世記 1:26~31、

エフェソの信徒への手紙 4:17~24

交読詩編 34:1~8

讃美歌 52、321、514、25

サテライトチャーチ植竹礼拝・夕礼拝

10:30、☑ 18:00

説教「いやされた人の証し」熊江秀一牧師

イザヤ書 35:3~7、

ヨハネによる福音書 9:3~17

交読詩編 34:1~8

讃美歌 2、52、452、29

ワーシップ (賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「湖での再会」熊江秀一牧師、ヨハネによる福音書 21:4~6

賛美：鹿のように、さあ賛美しよう、主イエスの十字架の血で、主イエス神の愛、今こそキリストの愛に
応えて、主の祈り、主は今生きておられる、よみがえりの主

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. サテライトチャーチ植竹礼拝の為に
4. ワーシップの為に
5. 日本基督教団の宣教の為に
6. 東京神学大学後援会の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 共愛学園中学校・高等学校 共愛学園小学校

◇先週の説教より「あなたがたに平和があるように」ヨハネによる福音書20章19～23節、創世記2章4b～8節 熊江秀一牧師

ヨハネ福音書の復活物語、第二幕が与えられた。この箇所はヨハネのペンテコステとも呼ばれる。「週の初めの日の夕方」弟子たちはユダヤ人を恐れて、家の戸にみな鍵をかけていた。彼らは主の復活の知らせを受け入れることができず、恐れていた。彼らは家の戸に鍵をかけたように心を閉ざしていた。その姿は私たちの姿でもある。

しかしそこへ復活の主は来て、弟子の真ん中に立った。硬く閉ざされた心の中にも来て、真ん中に立ち「あなたがたに平和があるように」(シャローム)と告げた。これは挨拶と共に神の平和と平安の宣言である。さらに復活の主は「手とわき腹をお見せになり」ご自分をさらけ出す。その主の愛によって閉ざされた弟子たちの心は開かれ、「主を見て喜んだ」。重ねて主は彼らにシャロームと告げる。二度のシャロームと共に示された復活の主の愛によって、弟子の心は開かれ喜びに満たされた。

復活の主は私たちの真ん中に立って、私たちの心を開き、シャロームを与える。

そして復活の主は弟子に使命を与え、遣わす。彼らは主の働きを継承する者として遣わされる。しかも遣わされた先に主はおられる。宣教「ミッション」は「派遣された」という意味である。教会に連なる者は主の「ミッション」に派遣される。その先頭に主がおられる。

そしてその時、復活の主は彼らに聖霊を与える。主の弟子は聖霊を受け、新しい者とされて派遣される。

さらに復活の主は教会と弟子に与えた権能を明らかにする。それは主の名による「罪の赦し」である。プロテスタント教会においては信徒もその権能が与えられる。私たちは執り成しと罪の赦しに生きる群れである。復活の主のシャロームの中、聖霊を受け、主の使命に遣わされよう。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、③は夕礼拝。